

製品名: NQO1 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM81062

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	31kDa

抗原情報

遺伝子名	NQO1
別名	DTD; QR1; DHQU; DIA4; NMOR1; NMORI
遺伝子 ID	1728.0
SwissProt ID	P15559
免疫原	大腸菌で発現したヒト NQO1 の精製された組み換え断片。

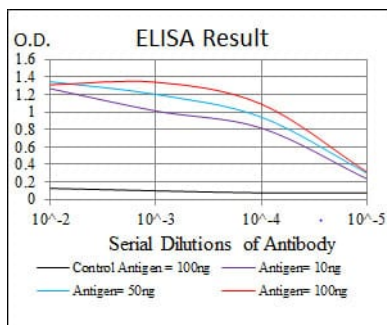
背景

この遺伝子は NAD(P)H 脱水素酵素 (キノン) ファミリーに属し、細胞質 2 電子還元酵素をコードする。この FAD 結合タンパク質はホモ二量体を形成し、キノンをヒドロキノンに還元する。このタンパク質の酵素活性は、ラジカル種の生成につながるキノンの 1 電

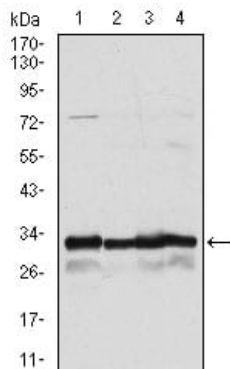
子還元を阻害する。この遺伝子の変異は、遅発性ジスキネジア (TD)、ベンゼン曝露後の造血毒性リスクの増加、および様々な形態の癌に対する感受性と関連付けられている。このタンパク質の発現変化は多くの腫瘍で認められており、アルツハイマー病 (AD) とも関連している。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられている。

研究分野

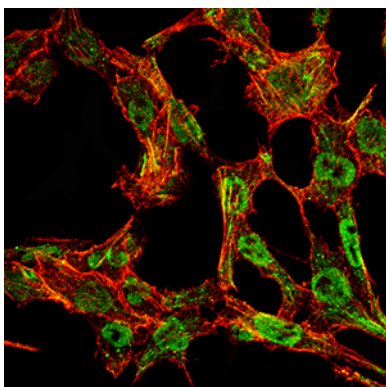
画像データ



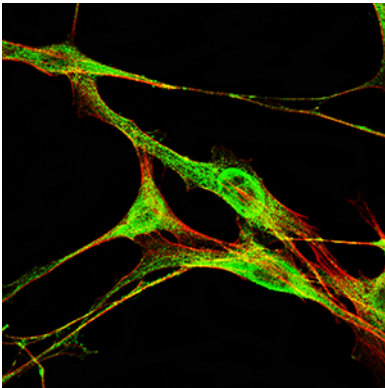
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



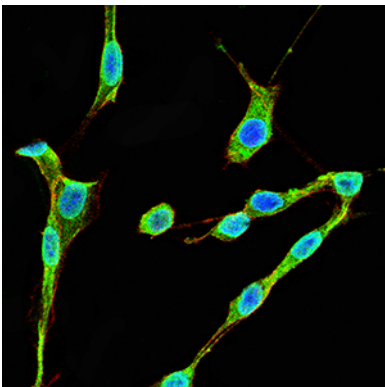
A549 (1)、HeLa (2)、MCF-7 (3)、HepG2 (4) 細胞溶解物に対する NQO1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



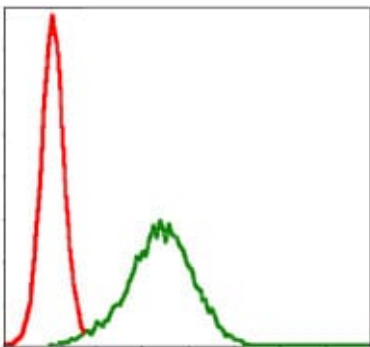
NQO1 マウス mAb (緑) を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



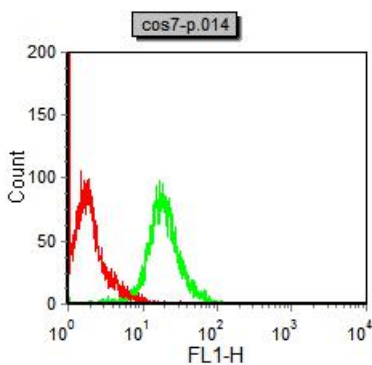
NQO1 マウス mAb (緑) を用いた NIH3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



NQO1 マウス mAb (緑) を用いた C6 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



NQO1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



NQO1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。